

平成25年度  
学校危機管理研修会  
実施報告概要

本年度学校危機管理研修会は、「学校防災の取り組み」と題して「学校防災マニュアル」をテーマに、12月13日（金）に東京都千代田区の麹町学園女子中学高等学校で開催され、96名が参加した。

開会式に続いて文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課安全教育調査官、佐藤浩樹氏による解説「学校防災マニュアルの指針について」では、学校安全の基本的な考え方や課題、国の動向等について説明がされた。

次に、群馬大学理工学研究院環境創生部門、片田敏孝教授による基調講演「想定外を生き抜く力を育む防災教育～釜石市津波防災教育に学ぶ～」では、東日本大震災での事例を基に、災害に備える主体性を醸成する「姿勢の防災教育」の重要性についての話があった。

午後からは、当研究所の山路進主任研究員による「平成23年度『学校運営の改善の在り方に関する取り組み』－災害時における学校対応の在り方に関する調査報告－」と題する報告が行われ、当研究所による学校訪問調査、アンケート調査の結果に基づいて、震災時の私立学校の対応について報告がされた。

続いて、本研修会の会場校である学校法人麹町学園の相川忠洋理事長による「防災マニュアルについて」の事例発表が行われ、同校が現在取り組んでいる防災対策が紹介された。



また、この事例発表後、麹町学園の校内視察が行われ、災害に備えた非常用備蓄物資や、同校の防災教育の展示を見学し、研修会を終了した。